

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	世田谷区船橋 5 - 1 4 - 1 9
園名	世田谷区立船橋東保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然とのかかわり

<テーマの設定理由>

自園には、園庭と小園庭があり、子どもが大好きな場所である。子ども達から、「虫をみつきたい」「虫をつかまえたい」「いろいろなお花や葉っぱがあったらいい」などの声があった。園庭あそびの充実を図り、子どもの興味関心をさらに深めていくため。

2. 活動スケジュール

通年で園庭・小園庭を活用し、自由遊びを楽しむ。虫や草花に親しめる環境を整え、季節ごとの自然とふれあいながら感性や探究心を育む。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・プランターに花や実のなる植物を植える。
- ・荒木田土を園庭、小園庭の一角に用意する。

4. 探究活動の実践<活動の内容>

- ・プランターの草花やピオトープを園庭に用意したところ、観察する姿や友達同士の会話が增多するといった姿がみられるようになる。
- ・荒木田土は、園庭と小園庭それぞれに用意する。泥団子作りに夢中になったり、食べ物などにみたてるところからごっこ遊びに発展する姿もある。
- ・虫の幼虫を見つけ、図鑑で調べる姿がある。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>



荒木田土に水を加えてドロドロになったものを、手にして感触遊びを楽しむ。

「何か手にくっつくよ」「丸くなってきた」

「焼き芋にする?」「フーフーしよう」

「チョコレートケーキだね!」「そうのうんこみたい」

また、土そのものを観察して

「昔虫のお墓だったから幼虫いるよ」

「寒くなったから虫いないかな」といった子どもからのつぶやきが聞かれた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 自然物を用意することによって、子ども達が遊びに没頭したり、友だち同士の関わりが生まれ、様々な遊びに発展していく姿につながっていった。
- 子ども達がどのような遊びを楽しんでいるのか、何に夢中になっているのかを把握した上で、環境を整えていくことが大切であるという気づきがあった。
- 用意する素材によって、見立て遊びやごっこ遊びなど創造的な遊びに発展していくので、子どもの姿をよく見ながら、子どもに合わせた素材の準備や保育士の関わりが大切だと感じた。